

令和4年度
学校だより
No. 3



照葉樹

令和4年 5月 6日
福岡市立照葉北小学校
校長 久保田 篤

校訓 心を照らし 人を照らし 未来を照らす

晴天の下の、歓迎集会・歓迎交流会！

昨年度まで、どの学校もコロナ渦で学校行事が延期や中止に追い込まれ、なかなか学校本来の活動ができにくい状況にありました。現在も新型コロナウイルス感染症の脅威が去ったわけではありませんが、緊急事態宣言やまん延防止対策などの措置がない今、感染防止対策をとりつつ、できることは行うことで、子ども達の学びや活動を保障しようと考えています。



そのような中、4月23日（金）はオンラインの歓迎集会と、3学年ずつ時間をずらしての歓迎交流会を実施しました。

感染症防止対策としてオンラインで行った歓迎集会では、児童会と1年生の各学級が事前に録画を準備し、かわいくて大変お行儀の良い1年生の様子が全校児童に紹介されました。

その後の歓迎交流会で、1・4・6年と2・3・5年の3学年ずつで時間をずらし、香椎浜中央公園に行きました。どの学年も新しい学級の友達と文字通り交流し、楽しんでいました。1年生は6年生と手をつないで公園へ行き、一緒に滑り台を滑ったり、シロツメグサで指輪や冠を作ったりと、春の公園を満喫できました。



全校朝会のお話『1秒の使い方』から

5月2日（月）に5月の全校朝会（オンライン）を行いました。話の冒頭で、私の住む地域で見つけた「キジ（雄）」の写真を提示し、5月10～16日の「愛鳥週間」の話をしました。その関連で、右の「ハチドリ」を紹介し、この鳥が体重わずか3g（1円玉3枚分）で、1秒間に約55回も羽ばたく能力があることを話しました。人間にはとても真似できない能力です。しかし同じ1秒間でも「人間にしかできないこと」があります。子どもたちには『1秒の使い方』として話をしたのですが、それは、子ども達に特に定着させたい「気持ちのよい挨拶」であり、「ありがとう（ございます）」などの人の気持ちを温かくする言葉を使うことです。ハチドリが約55回羽ばたく間に、人間は人の気持ちを温かくする挨拶などの言葉を使うことができます。私も毎朝、西側の正門と東側の校門へ交互に立って子ども達に挨拶していますが、『自分から／立ち止まって／相手の目を見て／（明るい）聞こえる声で』気持ちのよい挨拶ができる子も多く、大変嬉しく思います。また、気持ちのよい挨拶を褒めると、中には「ありがとうございます。」とお礼を返す子もいて感心します。しかしながら、気持ちのよい挨拶をできる子が多い一方で、こちらが挨拶しても目を合わせることなく黙って行き過ぎる子がいるのも現状です。他の子のお手本になるほどの挨拶をしてくれる子が多くいますから、価値ある1秒を増やせる学校にしていきたいと考えています。

※3年生と4年生の外国語活動GT（ゲストティーチャー）が決まりました。
板持寛子先生（3年）と、於保陽子先生（4年）です。よろしくお願いいたします。